



防災訓練レポート

今回内容

住民参加：実地訓練

- 1) 大丈夫手ぬぐい 掲示訓練
- 2) 安否情報集約訓練

役員対象：コロナ対応避難所開設訓練

- 1) 谷本中学校 C 棟 避難所開設訓練
- 2) 避難者受付と誘導訓練

災害時 安否確認の為 玄関先に出して下さい
今居る家族は 大丈夫!!
 谷本中学校防災拠点 梅が丘自治会

大丈夫手ぬぐい

今回掲示率は**過去最高の76.1%**！
 住民の皆さんの意識の高まりを実感できました。手ぬぐい 掲示は被災時の住民安否確認の取り組みです。万一のとき、すぐ行動できるようご協力ください。手ぬぐいの意義については12月配布の防災訓練レポート、または自治会ホームページでご確認ください。



梅が丘自治会ホームページ

梅が丘自治会

yumeplz.com

防災紙芝居 YouTube 動画

梅が丘 防災紙芝居

youtube.com/watch?v=Qfa7uivE0qg



住民の安否情報集約の流れです。

住民の皆さんから安否情報発信

↓ 1/17 朝、手ぬぐい 掲示
 班長が班内を巡回

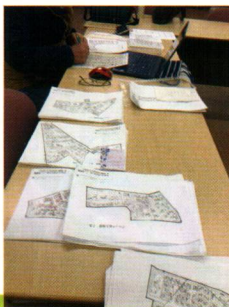
↓ 手ぬぐい 掲示状況チェックと
 未掲示のお宅への声掛け
 ブロック長が集約して報告

↓ ゆめプラの「本部」に報告

情報の集約と分析

↓ 夕方、防災部
 が、ゆめプラ
 にて全体集約

地域や行政に発信

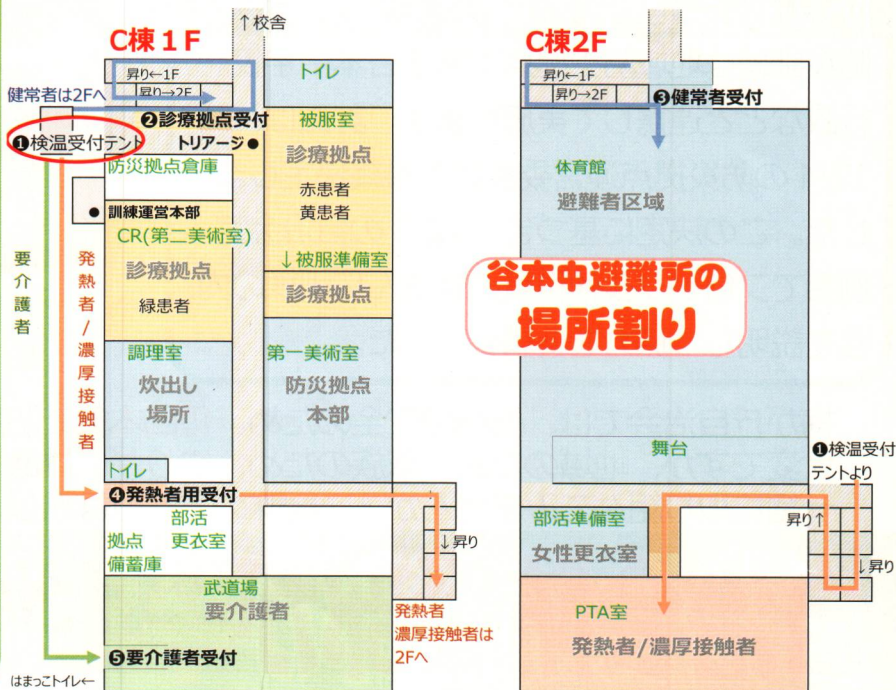


コロナ対応避難所開設

コロナの影響で、集合しての訓練は中止となりましたが、感染対策を考慮した**避難所開設**や**検温受付**、**誘導**の流れを確認しました。

避難する場所は4区分 検温受付で体温確認後、ケガした人は診療拠点受付を経て**診療拠点**へ。それ以外の人は健常者、発熱者/濃厚接触者、要介護者の各区分に誘導します。感染の恐れのある人の通路やトイレは、他の人とは別にします。

在宅避難の重要性 防災拠点である谷本中学校で避難所に使えるのは主にC棟。震度6以上で設置する診療拠点のスペースや3密回避を考えると、避難者を迎え入れられるスペースは大変に狭いです。**在宅避難**と、そのための**そなえ**の重要性を強く感じました。
 ※在宅避難 = 被災後も自宅で生活すること



谷本中避難所の場所割り